



おいしさのみなもと

**FEED ONE**

2024年3月期 第3四半期

決算補足説明資料

2024年2月8日

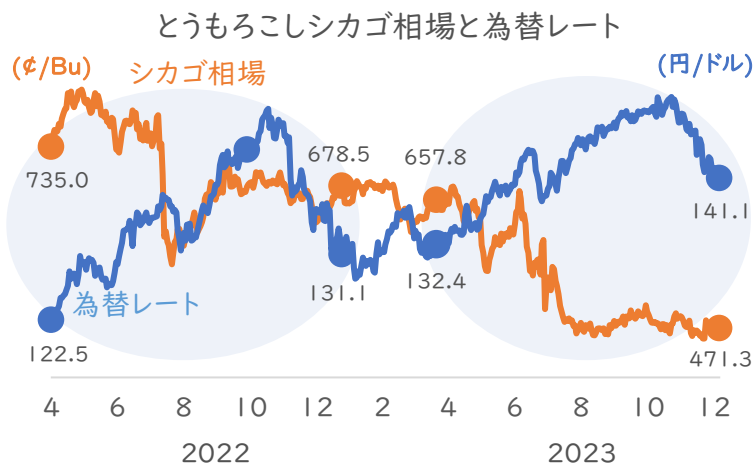
フィード・ワン株式会社

東証プライム 証券コード:2060

## 1. 輸入原料の価格動向 畜産飼料原料の約50%をとうもろこしが、水産飼料原料の約40%を魚粉が占める

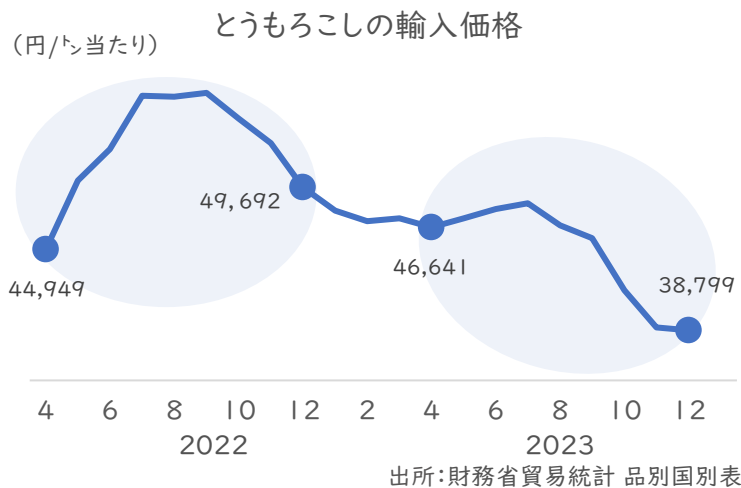
為替レートは日米金利差等により円安進行も、10月をピークに年末にかけて円高に推移、  
とうもろこしシカゴ相場は安定した生産見通しにより軟化傾向、  
とうもろこし輸入価格は前年同期を大きく下回る

魚粉輸入価格は円安に加え、主産国ペルーでの  
第1期漁(4-8月頃)の中止、第2期漁(11-1月頃)  
の漁獲枠縮小により、前年同期を大きく上回る



為替レート: **前年同期比 4.9%円安**

とうもろこしシカゴ相場: **前年同期比 23.9%低下**



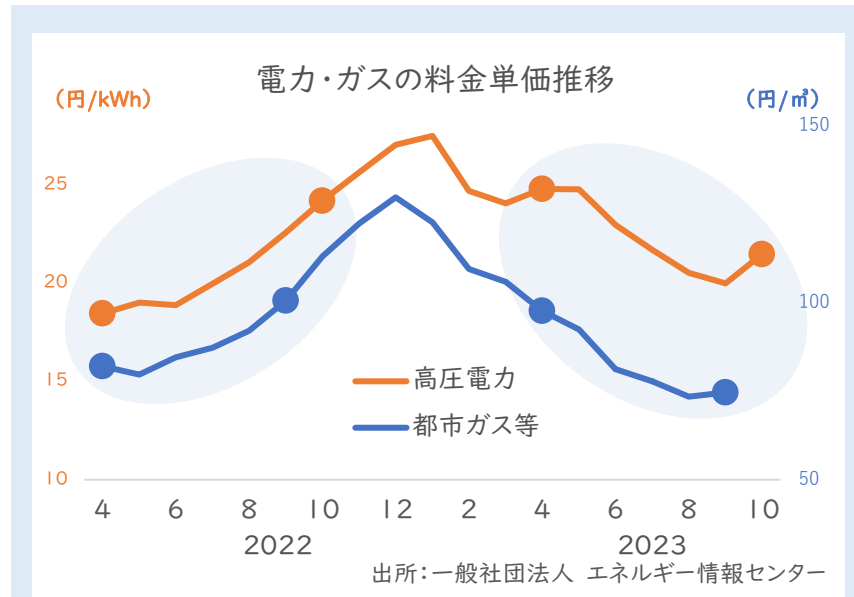
とうもろこし輸入価格: **前年同期比 15.5%低下**



魚粉輸入価格: **前年同期比 10.1%上昇**

## 2. エネルギーコストの動向

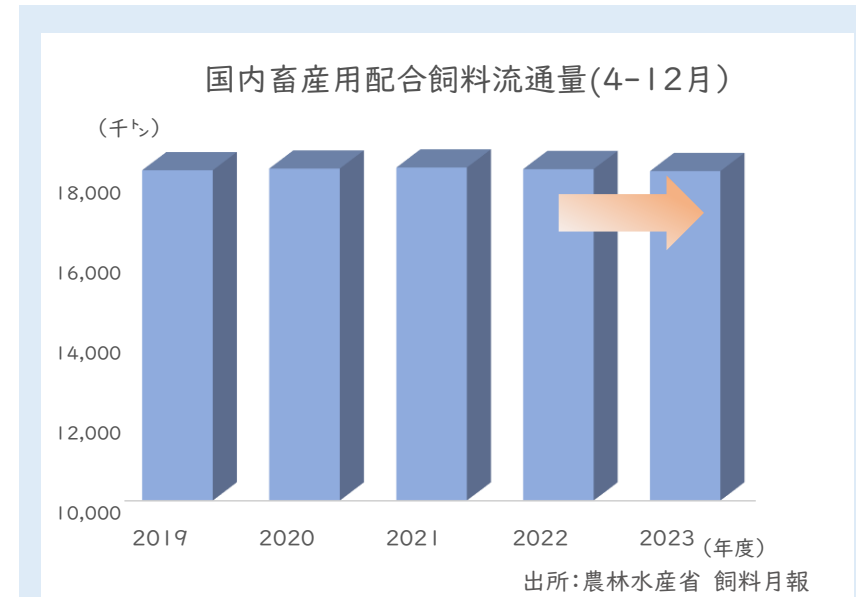
今年度の電力料金単価は発電コストの増加により上昇、ガス料金単価は天然ガス価格の下落により低下で推移  
電気・ガス価格激変緩和対策事業の縮小により、今期10月から電力・ガス価格ともに上昇



電力料金単価：**前年比 8.4%上昇**  
ガス料金単価：**前年比 5.5%低下**

## 3. 畜産用配合飼料流通量の動向

前年に猛威を振るった鳥インフルエンザの影響から上半期は採卵鶏用で減少するも、下半期に入り回復傾向にあることから、全体では概ね横ばいで推移



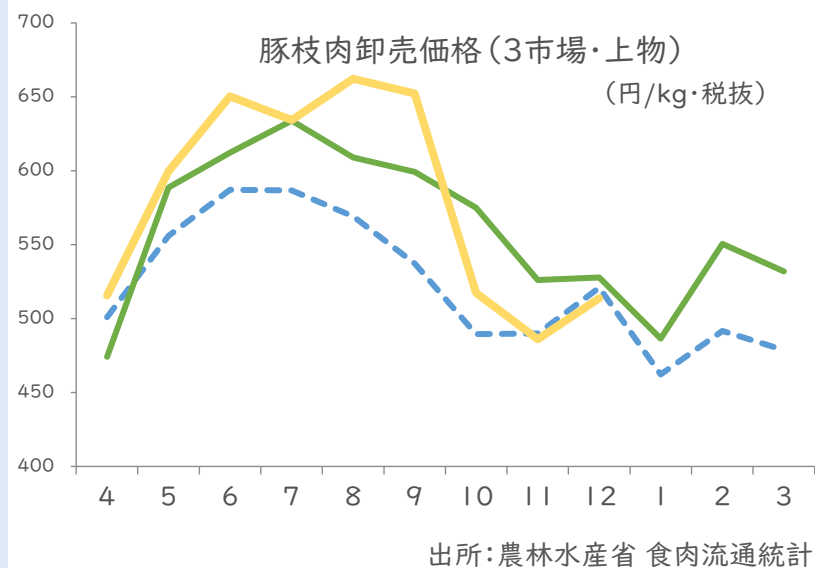
畜産用配合飼料流通量は概ね**横ばい**で推移  
※2023年12月実績は未公表のため過去3年の平均値で試算

## 4. 畜産物相場の動向

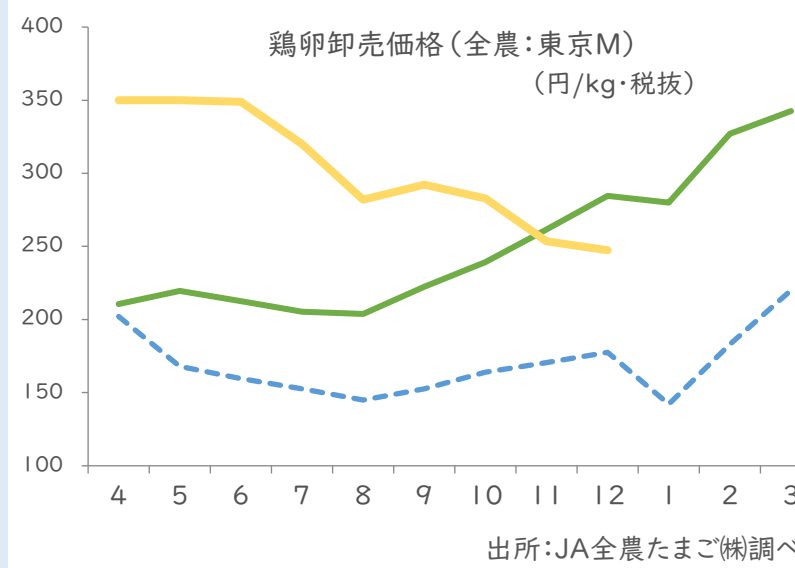
食品事業の売上は豚肉と鶏卵の販売が約9割を占める

豚枝肉相場は、夏季に記録的な猛暑により出荷頭数が減少したことから、前年同期を上回るも、秋以降気温低下に伴い、出荷頭数が回復し、10月以降は前年同期を下回る

鶏卵相場は、前期から鳥インフルエンザの全国的な蔓延により出荷量が減少し、前年同期を大幅に上回るも、再稼働による供給量の回復から、11月以降は前年同期を下回る



豚枝肉卸売価格: **前年同期比 1.6% 上昇**



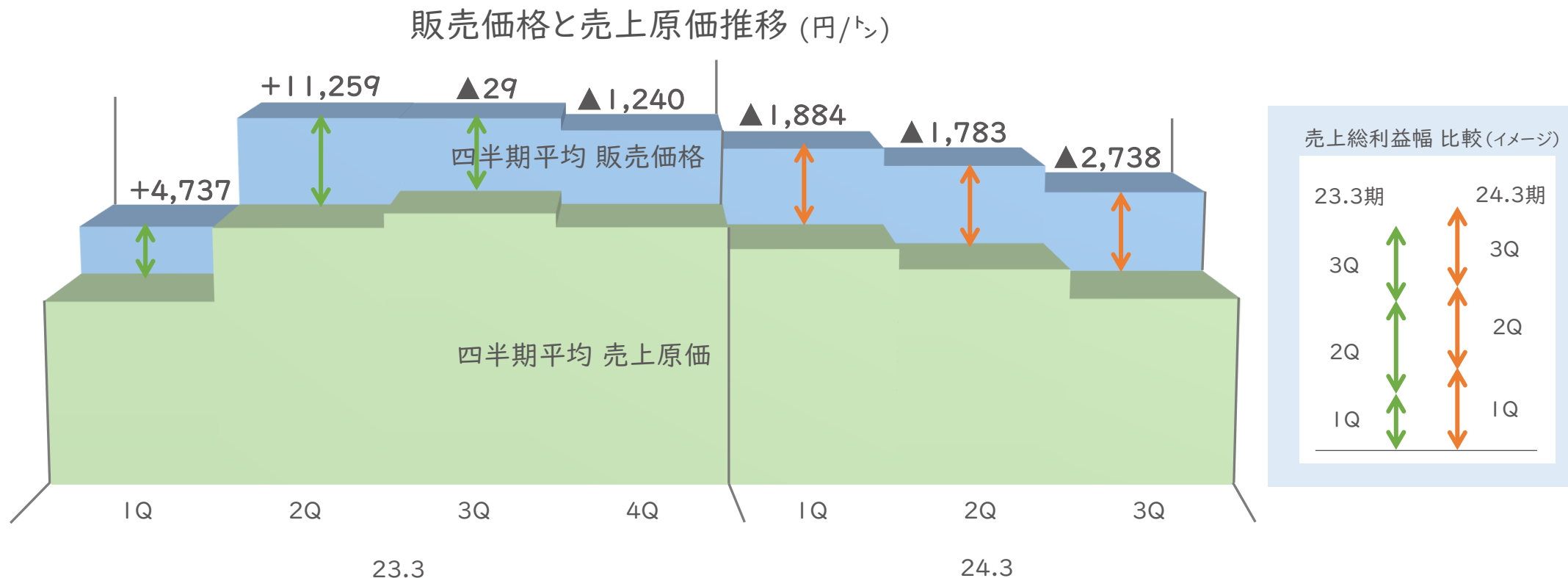
鶏卵卸売価格: **前年同期比 32.4% 上昇**

# 畜産飼料 販売価格と売上原価推移



FEED ONE

販売価格は前期第2四半期をピークに連続で低下したが、当期第3四半期までの売上総利益幅は前年同期比以上を確保



- ▶ 売上原価における原材料費率は8割強、原材料の5割を輸入とうもろこしが占める
- ▶ 販売価格は原材料相場・為替・海上運賃を踏まえて、四半期毎に改定を行う

# 2024年3月期 第3四半期 決算概要



FEED ONE

飼料事業の販売数量増加、水産飼料・食品事業の販売価格改定による増収額が、売上原価の増加額を大きく上回る

(百万円)

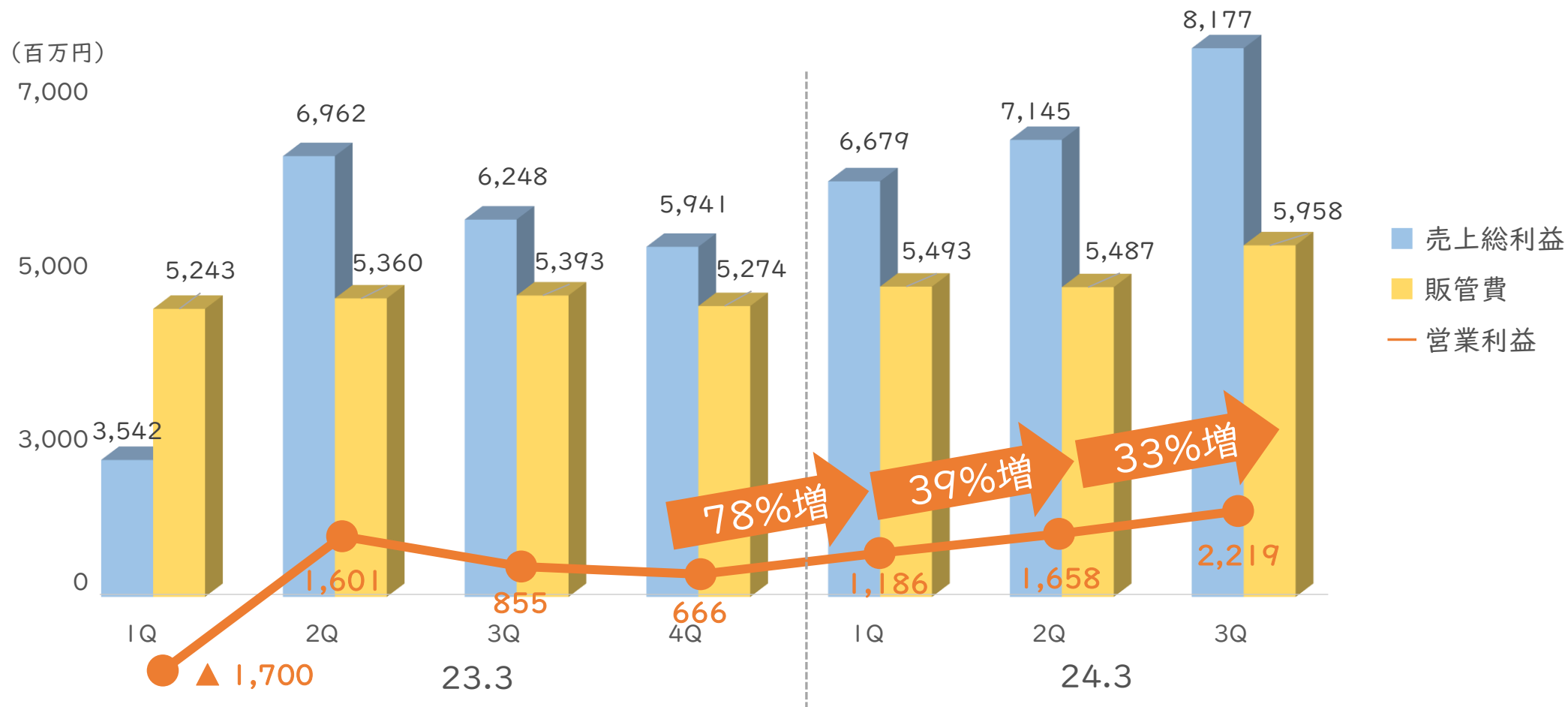
	2023.3期 3Q	2024.3期 3Q		
			増減額	前年同期比
売上高	228,746	238,369	+9,623	+4.2%
売上原価	211,993	216,367	+4,374	+2.1%
売上総利益	16,752	22,001	+5,249	+31.3%
販管費	15,996	16,938	+941	+5.9%
営業利益	756	5,063	+4,307	6.7倍
経常利益	1,039	5,148	+4,108	5.0倍
親会社株主に帰属する 四半期純利益	636	3,257	+2,621	5.1倍

# 四半期ベース業績推移



FEED ONE

全事業（飼料事業・食品事業）において収益力の強化により、毎四半期着実に収益力が強化されている

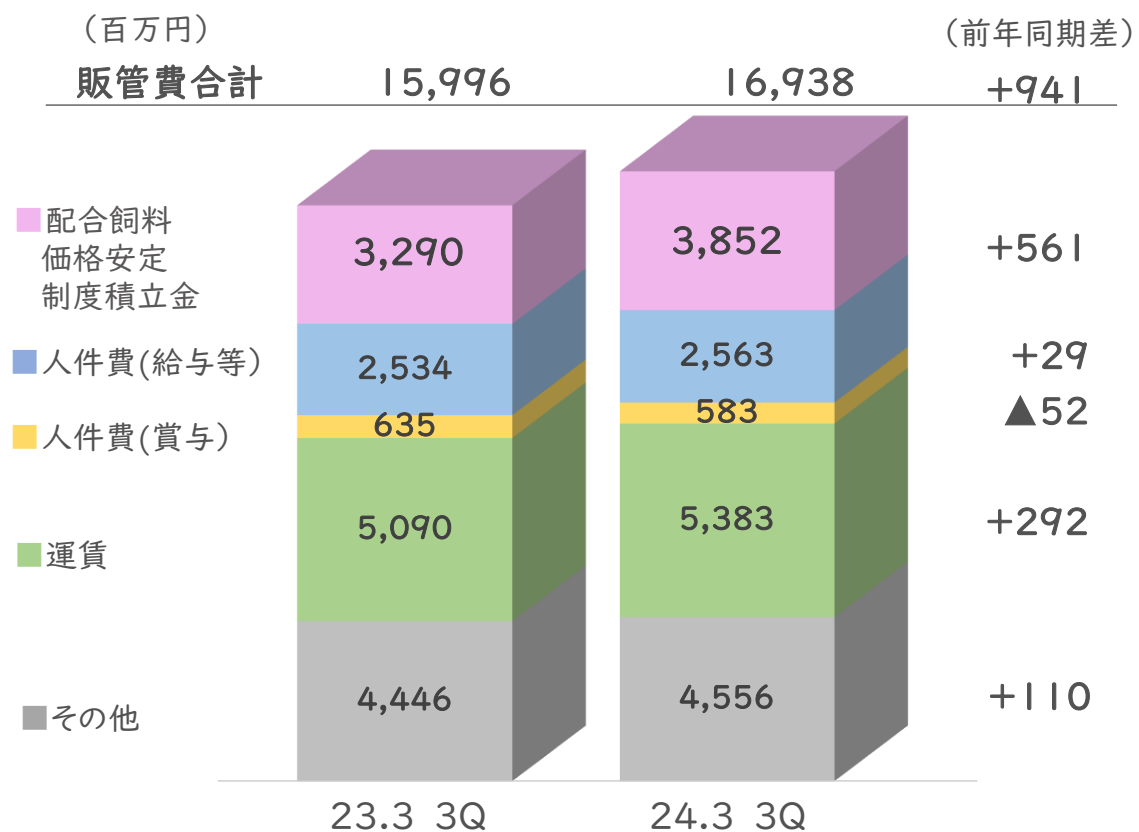


# 販管費



FEED ONE

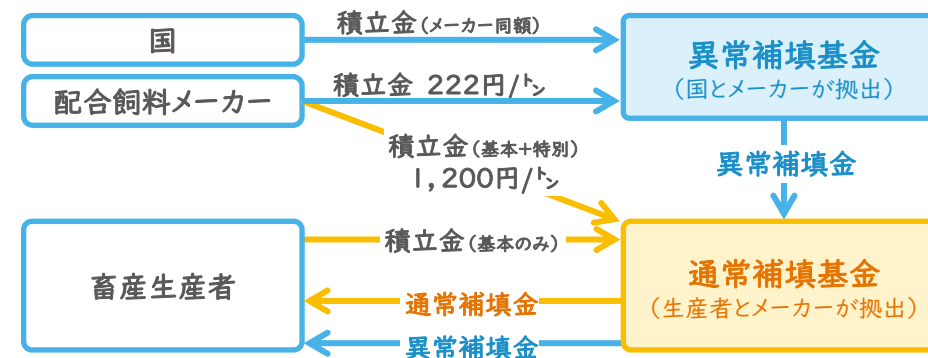
配合飼料価格安定制度の積立金及び運賃が増加  
 その他は貸倒引当金繰入額が減少も、営業活動費  
 やシステム関連費が増加



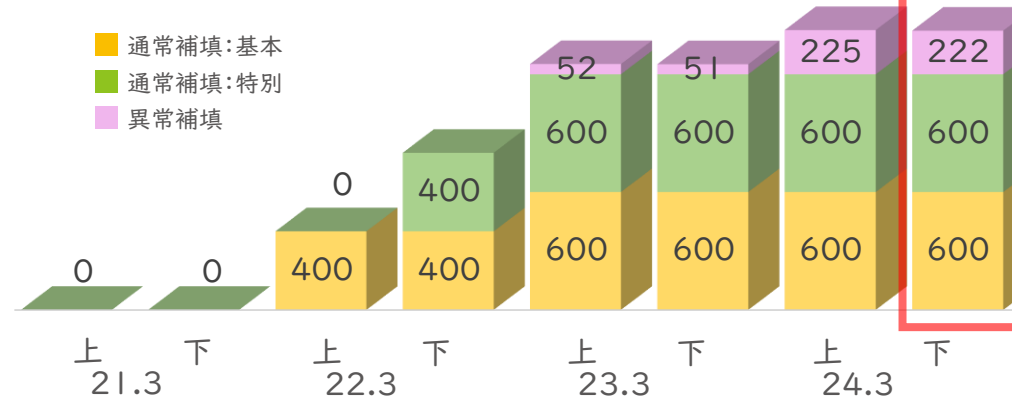
## 【参考】配合飼料価格安定制度

- ▶ 輸入原料価格の上昇が畜産経営に及ぼす影響を緩和する目的
- ▶ 異常補填金発動で23.3期から異常補填積立金が発生。また同期に大幅な輸入原料価格の上昇により異常補填金が増加し、積立金の単価が増額

制度の仕組み(例:24.3期下期)



積立金推移(配合飼料メーカー)





# 2024年3月期 第3四半期 セグメントの状況



FEED ONE

各事業において増収・増益、畜産飼料・水産飼料ともに販売数量大幅に増加

(百万円)

		2023.3期 3Q	2024.3期 3Q	
			増減額	前年同期比
飼料事業	売上高	196,552	202,126	+ 5,573 +2.8%
	セグメント利益	2,616	6,138	+ 3,522 2.3倍
食品事業	売上高	30,321	34,315	+ 3,993 +13.2%
	セグメント利益	▲ 270	611	+ 882 —

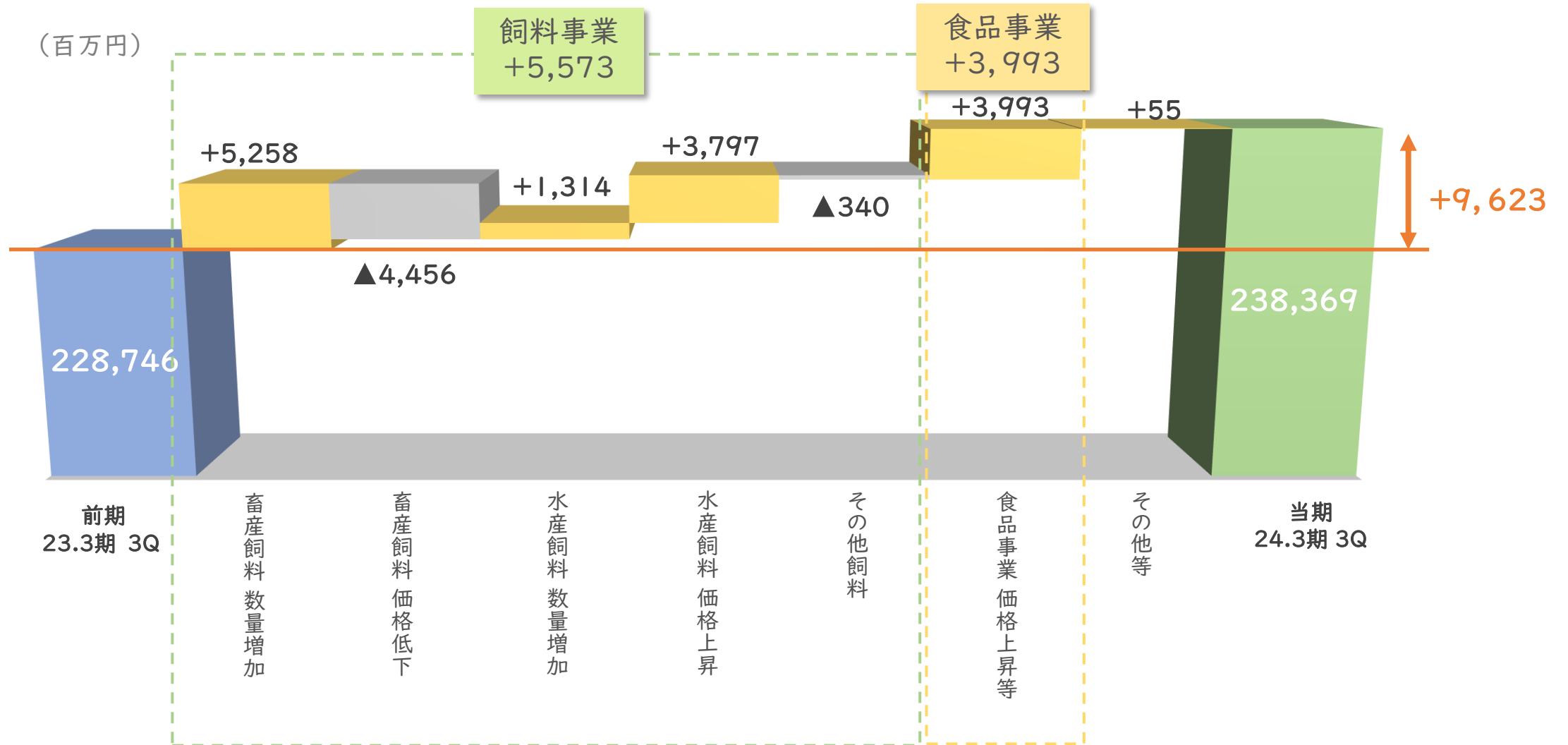
※セグメント利益:営業利益

販売数量	2023.3期 3Q	2024.3期 3Q		
		前年同期比	内訳	
畜産飼料	268.3万ト	276.4万ト	+ 3.0%	採卵鶏用+1%、ブロイラー用+6%、豚用+5%、牛用+1%
水産飼料	8.1万ト	8.8万ト	+ 8.9%	海水魚用+12%、淡水魚用▲14%

# 売上高増減要因



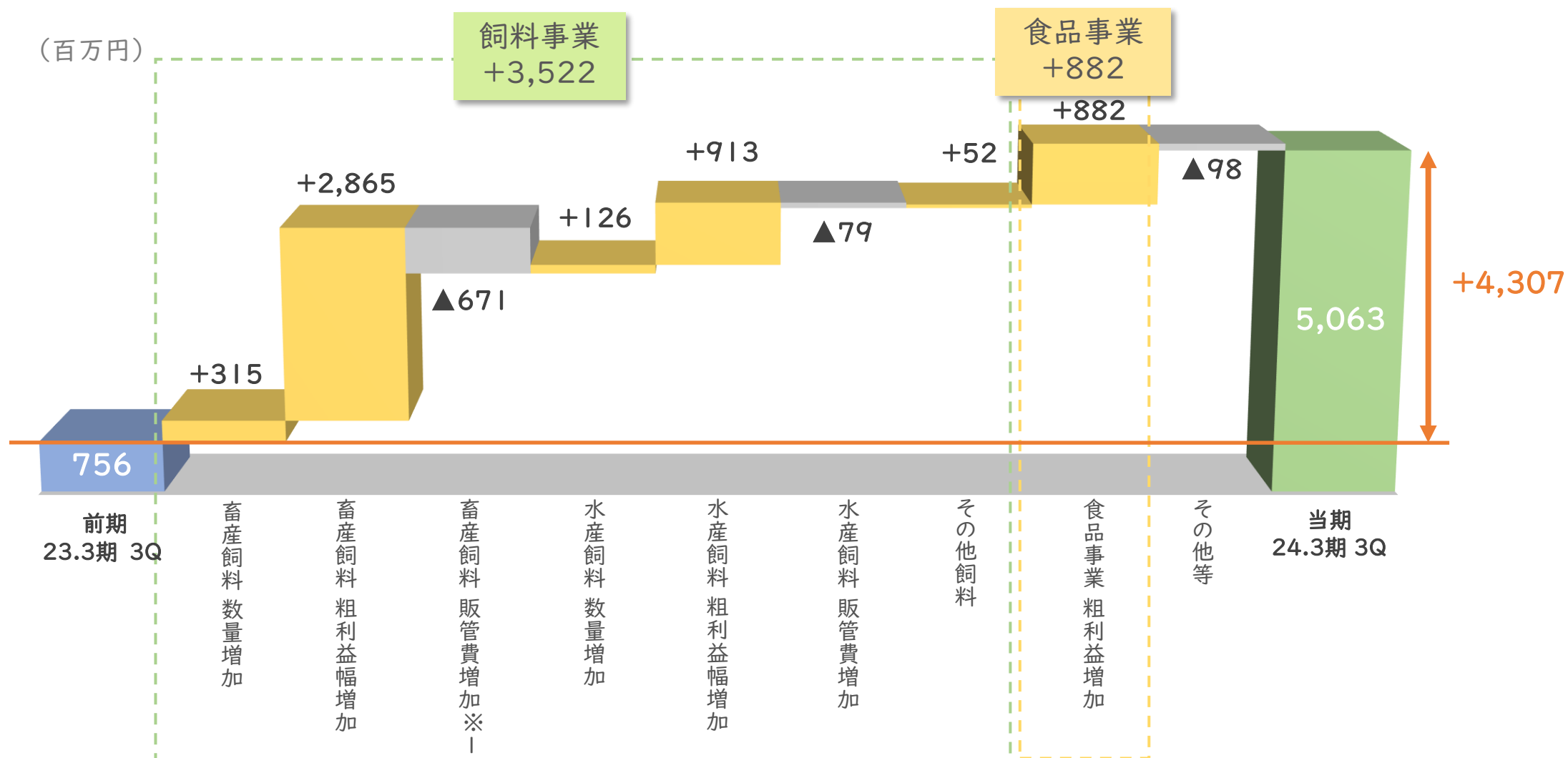
FEED ONE



# 営業利益 増減要因



FEED ONE



※I 配合飼料価格安定制度の積立金増加▲562百万円

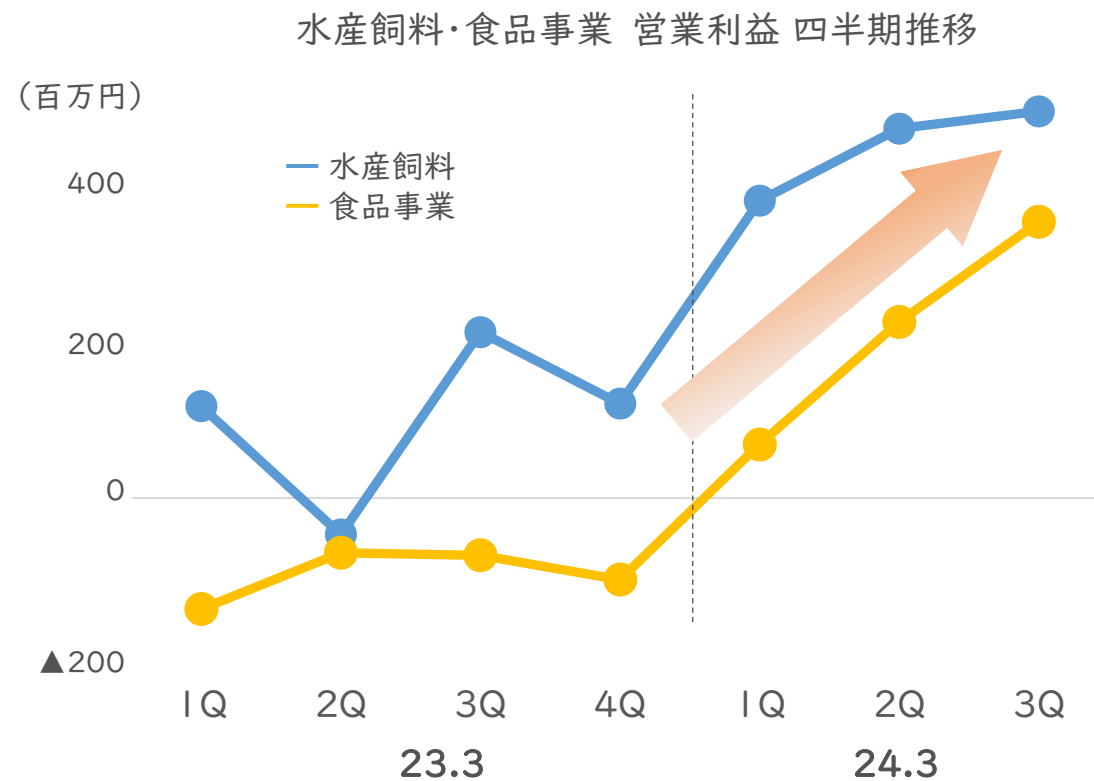
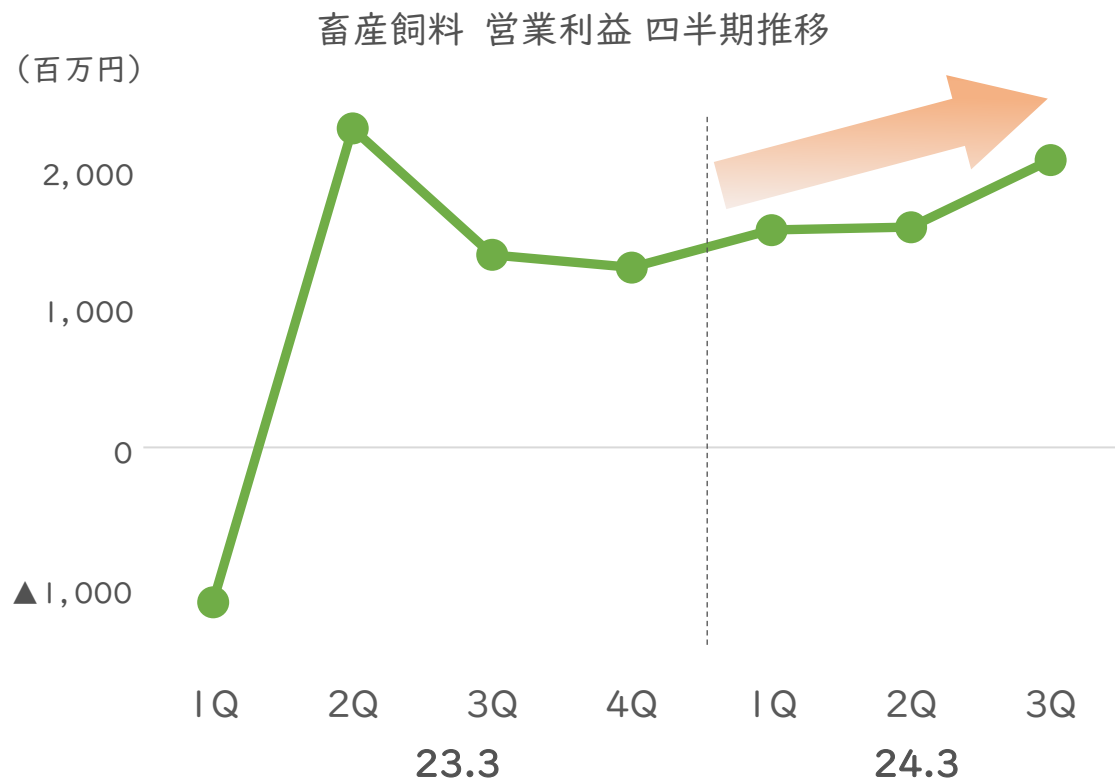
# 主要事業 四半期ベース業績推移



FEED ONE

安定的な収益基盤のある畜産飼料は定期的な価格改定による売上総利益幅増に加え、コスト増の価格転嫁が進み、収益力が強化

水産飼料は上期に実行した価格改定が浸透、食品事業は販売条件の見直しおよび下期の相場下落により、収益が大幅に改善



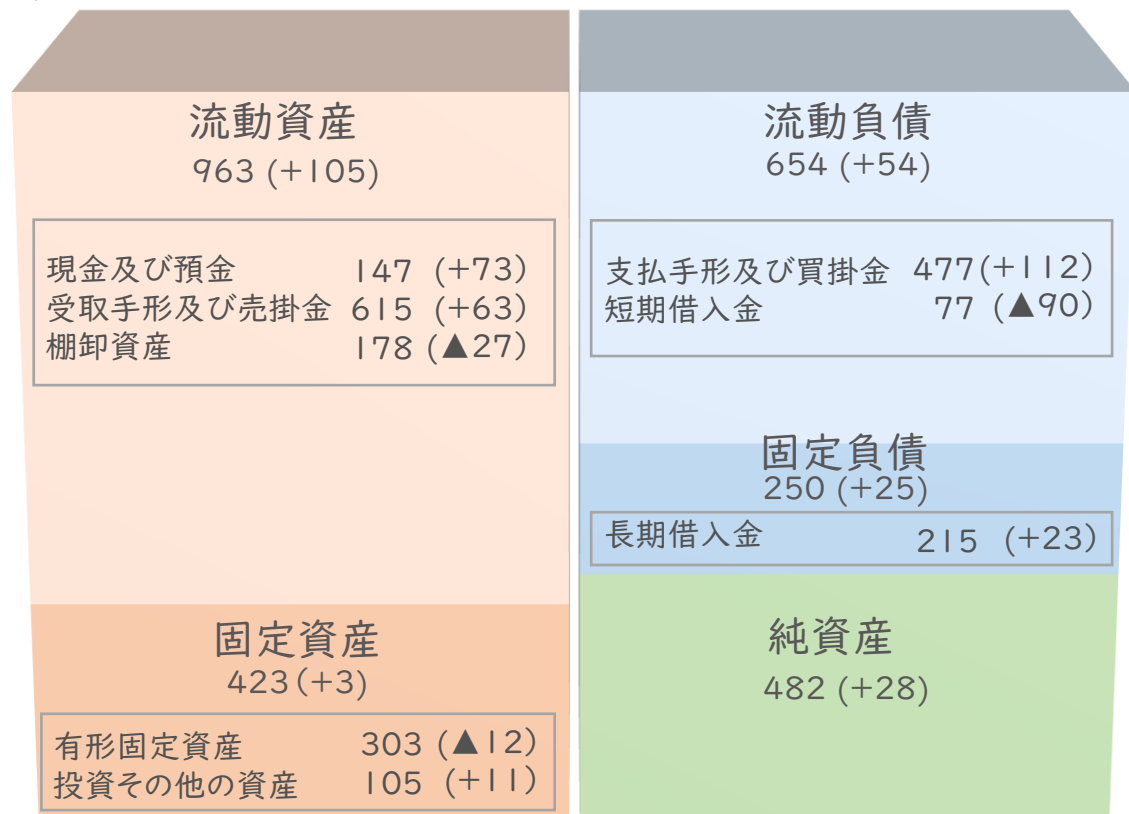
# 2024年3月期 第3四半期 連結財務状況



FEED ONE

## 連結貸借対照表 (23.3期末差)

(億円)

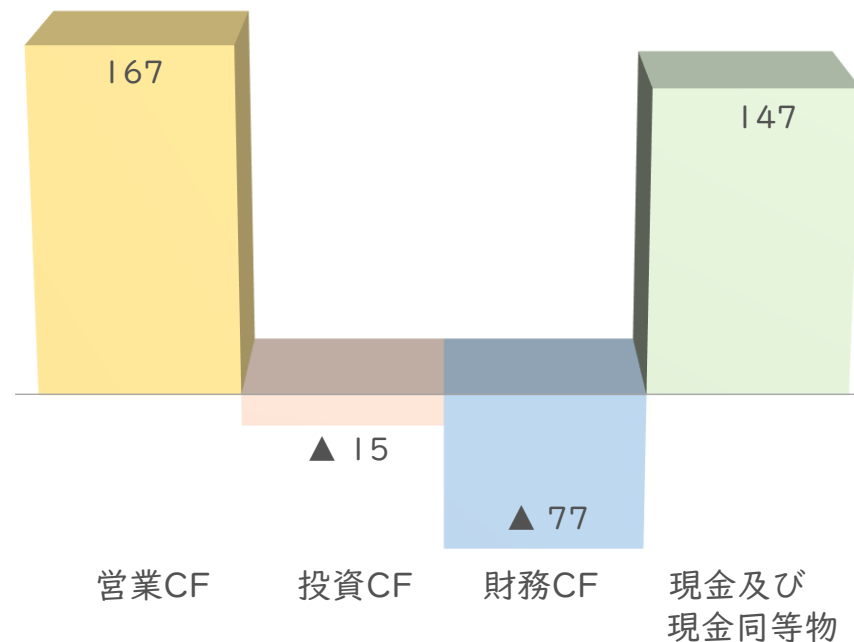


総資産 1,387 (+108)

※2023年12月末は休日

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)



営業CF：当期利益 49、運転資金 76

投資CF：設備投資▲17

財務CF：借入金返済▲66

現金及び現金同等物：前期末増減額+73



# 2024年3月期 業績予想

---

# 2024年3月期 業績予想

2023年5月12日公表2024年3月期\_通期連結業績予想(期初予想)を2月2日付で上方修正  
(百万円, %)

	2024.3期 期初予想	2024.3期 今回修正予想	増減		ご参考 前期実績(2023.3期)	
			増減額	増減率		増減額
売上高	323,000	313,000	▲ 10,000	▲3.1	307,911	+5,089
営業利益	3,500	7,500	+4,000	2.1倍	1,422	+6,078
経常利益	3,500	7,500	+4,000	2.1倍	1,711	+5,789
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,300	4,800	+2,500	2.1倍	1,030	+3,770

## 通期連結業績予想の修正の背景

- 売上高 畜産飼料の当期3四半期連続の価格改定の値下げ
- 利益 畜産飼料は定期的な価格改定による売上総利益幅増に加え、コスト増の価格転嫁が進み、収益力が強化  
水産飼料は上期に実行した価格改定が浸透、食品事業は販売条件の見直しおよび下期の相場下落により、収益が大幅に改善

2024年3月期通期業績予想の修正を踏まえ、期末配当予想を前回予想から2円増配し、  
1株当たり14.5円、年間配当予想を1株当たり27円に修正



# トピックス

---



## ソフトバンクらと魚の鮮度やうまみの測定手法の 確立に向けた品質規格標準化プロジェクト開始



### プロジェクト発足の背景

- ① 魚の価格は魚種と重量で決められ、果物の糖度や牛肉の等級のような統一された品質規格がない
- ② 魚の品質基準の一つである鮮度は、簡単に測定する手法が確立されておらず、魚のうまみに影響がある遊離アミノ酸についても特定されていない
- ③ ③物流・運送業界の「2024年問題」により、長距離の鮮魚運搬がより困難になる

これらの課題を解決する一つの手法として、おいしい冷凍魚を作り、品質を落とさずに輸送することが挙げられる

本コンソーシアムは、愛媛県トライアングルエヒメの支援を受け、下記について取り組む

1. 魚のうまみの新たな規格づくり
2. おいしい冷凍魚のための規格づくり
3. リアルタイムで魚の鮮度・うまみを測定する新しい手法の確立

冷凍魚に適した養殖魚の飼養管理技術の向上に取り組み、フィード・ワンは得られた知見を活用し、冷凍魚に適した専用飼料の開発に繋げる

## 日経SDGs経営調査 3つ星に認定

# NIKKEI SDGs

経営調査 2023 ★★★★★

第5回日経SDGs経営調査  
(全国の上場企業と有力非上場企業  
899社を対象)  
アンケート調査および公開データなどから  
総合的に企業の「SDGs経営」を評価

当社は、「SDGs戦略・経済価値:A+」「社会価値:A+」「環境価値:A」「ガバナンス:A+」の評価を受け、3つ星に認定された

## 女性の活躍推進「えるぼし認定」2つ星取得



「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」にて、女性活躍に関する取り組みの実施状況が優良な企業を認定する制度

- ・ライフイベントに伴う一定期間の転勤の免除制度
- ・社員同士で結婚した場合に同一エリアで働き続けられる制度
- ・消滅する有給休暇を保存有給休暇として保有し、無給となる産前産後休業・育児休業・介護休業・不妊治療・慣らし保育に充てて100%の給与が補償される制度、ジョブ・リターン制度 等

男女問わず活用できる制度を導入し、すべての社員が活躍できる職場を目指している

# トピックス

## 関係会社 (有)グリーンファームソーゴ

「自社農場の鶏ふんを原料とした粒状・粉末の発酵堆肥」の取り組みが農林水産省の先進事例集に紹介

- 自社農場の鶏ふんを縦型コンポ式発酵法で粉末製品を生産。また、ロータリー式コンポ発酵法ではその攪拌する爪の形状を活用して粒状製品を生産している
- 粒状・粉末に分別したことで需要が拡大し、遠方農家への大量販売が実現可能となった



農林水産省HP\_国内資源由来の活用事例集リンク

## 気候変動への対応

### 関係会社 北海道フィードワン販売(株) 太陽光発電を導入

フィード・ワングループでは2030年に2020年度比CO<sub>2</sub>50%削減を目標に掲げ、積極的な取り組みを展開している

- 2023年12月に北海道の飼料販売会社において太陽光パネルを設置  
今後も大規模な気候変動対応への取り組みを計画



## こども家庭庁「こどもまんなか 応援サポーター」に賛同

こどもたちが健やかで幸せに成長できるような社会を実現する「こどもまんなか宣言」の趣旨に共感・賛同し、取り組みを推進している

### 〈取り組み〉

- 食育講習会の開催
- 学校で課題解決型授業の開催
- こども参観日の開催 など



# こどもまんなか

## 牛乳消費促進の取り組み

高騰するエネルギー価格等厳しい状況に置かれている全ての一次産業従事者を応援するため、乳製品をはじめ農産物・畜産物・水産物の消費を推進

### 〈取り組み〉

- 小売店における牛乳販促の協賛
- 常温保存可能牛乳の食支援
- X(旧 Twitter)公式アカウント「ONE's チャンネル」における牛乳消費促進応援動画の投稿



ご覧いただき、フォローお願いします!





おいしさのみなもと

# FEED ONE

本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での当社の判断であり、

その情報の正確性を保証するものではありません。

また、様々な要因の変化により実際の業績や結果とは異なる可能性があることをご承知おき下さい。

当資料に関するご質問・お問い合わせにつきましては、弊社のIR代表アドレス宛  
([ir@feed-one.co.jp](mailto:ir@feed-one.co.jp))にご連絡ください。